

SIMATIC

SIMATIC Logon V1.6 Update6

設定マニュアル

セキュリティ機能に関する情報

1

SIMATIC Logon の安全な操作の条件

2

ユーザー管理および電子署名

3

ハードウェアおよびソフトウェア要件

4

供給内容

5

インストール

6




SIMATIC Logon

7

法律上の注意

警告事項

本書には、ユーザーの安全性を確保し製品の損傷を防止するうえ守るべき注意事項が記載されています。ユーザーの安全性に関する注意事項は、安全警告サインで強調表示されています。このサインは、物的損傷に関する注意事項には表示されません。以下に表示された注意事項は、危険度によって等級分けされています。

 危険
回避しなければ、直接的な死または重傷に至る危険状態を示します。
 警告
回避しなければ、死または重傷に至るおそれのある危険な状況を示します。
 注意
回避しなければ、軽度または中度の人身傷害を引き起こすおそれのある危険な状況を示します。
通知
回避しなければ、物的損傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示します。


複数の危険レベルに相当する場合は、通常、最も危険度の高い事項が表示されることになっています。安全警告サイン付きの人身傷害に関する注意事項があれば、物的損傷に関する警告が付加されます。

有資格者

本書が対象とする製品/システムは必ず有資格者が取り扱うものとし、各操作内容に関連するドキュメント、特に安全上の注意及び警告が遵守されなければなりません。有資格者とは、訓練内容及び経験に基づきながら当該製品/システムの取り扱いに伴う危険性を認識し、発生し得る危害を事前に回避できる者をいいます。

シーメンス製品を正しくお使いいただくために

以下の事項に注意してください。

 警告
シーメンス製品は、カタログおよび付属の技術説明書の指示に従ってお使いください。他社の製品または部品との併用は、弊社の推奨もしくは許可がある場合に限りです。製品を正しく安全にご使用いただくには、適切な運搬、保管、組み立て、据え付け、配線、始動、操作、保守を行ってください。ご使用になる場所は、許容された範囲を必ず守ってください。付属の技術説明書に記述されている指示を遵守してください。

商標

®マークのついた称号はすべて Siemens AG の商標です。本書に記載するその他の称号は商標であり、第三者が自己の目的において使用した場合、所有者の権利を侵害することになります。

免責事項

本書のハードウェアおよびソフトウェアに関する記述と、実際の製品内容との一致については検証済みです。しかしなお、本書の記述が実際の製品内容と異なる可能性もあり、完全な一致が保証されているわけではありません。記載内容については定期的に検証し、訂正が必要な場合は次の版で更新いたします。

目次

1	セキュリティ機能に関する情報	7
2	SIMATIC Logon の安全な操作の条件.....	9
3	ユーザー管理および電子署名	11
4	ハードウェアおよびソフトウェア要件.....	13
5	供給内容	15
6	インストール	17
6.1	インストールタスクの概要	17
6.2	SIMATIC Logon のインストール方法	18
6.3	オペレーティングシステムで必要な設定を行う方法	19
6.4	SIMATIC Logon サーバが故障した場合の機能保持	20
6.5	SIMATIC Logon の削除方法	21
7	SIMATIC Logon.....	23
7.1	SIMATIC Logon について	23
7.2	SIMATIC Logon サービスを使用したログオン処理	25
7.3	必要なコンフィグレーションタスクの概要	27
7.4	SIMATIC Logon サービス	28
7.4.1	SIMATIC Logon サービスについて	28
7.4.2	SIMATIC Logon のコンフィグレーション	29
7.4.2.1	SIMATIC Logon のコンフィグレーションを開始する方法	29
7.4.2.2	[SIMATIC Logon のコンフィグレーション]ダイアログボックス.....	30
7.4.2.3	全般的な設定を行う方法([全般]タブ)	31
7.4.2.4	SIMATIC Logon の作業環境をコンフィグレーションする方法([作業環境]タブ)	33
7.4.2.5	ログオンデバイスをコンフィグレーションする方法([ログオンデバイス]タブ)	35
7.4.2.6	自動ログオフをコンフィグレーションする方法([自動ログオフ]タブ)	37
7.4.2.7	"SIMATIC Logon リモートアクセス"サービスの証明書([証明書]タブ)の設定方法	38
7.4.2.8	ユーザーの追加方法	40
7.4.2.9	ユーザーの削除方法	40
7.4.3	SIMATIC Logon を使用したログオン	41
7.4.3.1	SIMATIC Logon サービスを使用したログオン	41
7.4.3.2	ログオンダイアログボックスを使用したログオン(キーボード).....	42
7.4.3.3	スマートカードリーダーによるログオン	43
7.4.3.4	別のデバイスを使用したログオン	48
7.4.3.5	画面キーボードからのログオン	48

7.5	SIMATIC Logon 役割の管理	49
7.5.1	SIMATIC Logon 役割管理について	49
7.5.2	SIMATIC Logon 役割管理の構造	51
7.5.3	アプリケーションに対する権限の割り付け	52
7.5.3.1	コンフィグレーションタスクの概要	52
7.5.3.2	役割の作成方法	53
7.5.3.3	役割の設定方法	54
7.5.3.4	グループおよびユーザーに役割を割り付ける方法	55
7.5.3.5	役割に機能権限を割り付ける方法	56
7.5.3.6	役割にログオンステーションを割り付ける方法	56
7.5.3.7	役割にフェーズを割り付ける方法	57
7.5.3.8	グループとユーザーまたはログオンステーションにセキュリティエリアを割り付ける方法	57
7.5.3.9	役割の削除方法	58
7.5.3.10	役割のプロパティの変更方法	59
7.5.3.11	役割管理データのエクスポート方法	60
7.5.3.12	別のコンピュータへのグループとユーザーの割り付け方法	60
7.5.3.13	プロジェクトパスワードの変更方法	61
7.5.3.14	ショートカットキー	62
7.5.3.15	SIMATIC Logon 役割管理のフォルダアイコン	63
7.5.4	ショートカットメニューからのダイアログボックスの呼び出し	63
7.5.4.1	ショートカットメニューを使用した操作	63
7.5.4.2	[役割の新規作成]ショートカットメニュー	64
7.5.4.3	[編集]ショートカットメニュー	64
7.5.4.4	[プロパティ]ショートカットメニュー	64
7.5.4.5	[削除]ショートカットメニュー	64
7.5.5	SIMATIC Logon 役割の管理のツールバーとメニューバー	65
7.5.5.1	ツールバー	65
7.5.5.2	SIMATIC Logon 役割の管理のメニューバー	66
7.5.5.3	[ファイル]メニュー	67
7.5.5.4	[編集]メニュー	67
7.5.5.5	[ヘルプ]メニュー	68
7.6	SIMATIC Logon イベントログ	69
7.6.1	SIMATIC Logon イベントログビューワーについて	69
7.6.2	[SIMATIC Logon イベントログビューワー]ダイアログボックス	70
7.6.3	[SIMATIC Logon イベントログビューワー-イベントのフィルタリング]ダイアログボックス	71
7.6.4	SIMATIC Logon イベントログビューワーでログオンおよびログオフを追跡する方法	72
7.7	SIMATIC 電子署名	73
7.7.1	SIMATIC 電子署名について	73
7.7.2	電子署名のルール	74
7.7.3	操作への署名	74
7.7.3.1	[SIMATIC 電子署名: 署名取得]ダイアログボックス	74

7.7.3.2	アクションおよび状態変更に署名する方法	76
7.8	SIMATIC Logon 開発キット	77
7.8.1	SIMATIC Logon 開発キットについて	77
索引	79

セキュリティ機能に関する情報

シーメンスは、セキュアな環境下でのプラント、システム、機械およびネットワークの運転をサポートする産業用セキュリティ機能を有する製品およびソリューションを提供します。

プラント、システム、機械およびネットワークをサイバー脅威から守るためには、総体的かつ最新の産業用セキュリティコンセプトを実装し、それを継続的に維持することが必要です。シーメンスの製品とソリューションは、そのようなコンセプトの 1 要素を形成します。

お客様は、プラント、システム、機械およびネットワークへの不正アクセスを防止する責任があります。システム、機械およびコンポーネントは、企業内ネットワークのみに接続するか、必要な範囲内かつ適切なセキュリティ対策を講じている場合にのみ（例：ファイアウォールやネットワークセグメンテーションの使用など）インターネットに接続することとすべきとシーメンスは考えます。

産業用セキュリティ対策に関する詳細な情報は、<https://www.siemens.com/industrialsecurity> をご覧下さい。

シーメンスの製品とソリューションは、セキュリティをさらに強化するために継続的に開発されています。シーメンスは、利用可能になったらすぐ製品の更新プログラムを適用し、常に最新の製品バージョンを使用することを強くお勧めします。サポートが終了した製品バージョンを使用すること、および最新の更新プログラムを適用しないことで、お客様はサイバー脅威にさらされる危険が増大する可能性があります。

製品の更新プログラムに関する最新情報を得るには、<https://www.siemens.com/cert> からシーメンス産業セキュリティ RSS フィードを購読してください。

SIMATIC Logon の安全な操作の条件

SIMATIC Logon は、全体的なセキュリティコンセプトの一部として操作する必要があります。一般的に、Siemens 産業用セキュリティ (<https://www.siemens.com/industrialsecurity>) Web サイトの推奨事項が該当します。

MICREX-NX & WinCC 環境では、MICREX-NX & WinCC セキュリティコンセプト (<https://www.industry.siemens.com/topics/global/de/industrial-security/support/seiten/whitepaper.aspx>)の推奨事項が該当します。これには、高度な防御、セキュリティセルへの配布、ユーザー管理、アクセス制御、アンチウィルスソリューション、ファイアウォールが含まれます。

特に、SIMATIC Logon は信頼できるネットワークでのみ使用する必要があります。SIMATIC Logon クライアントは、SIMATIC Logon サーバーと同じトラストゾーンで操作する必要があります。外部ネットワーク(インターネット等)からの直接アクセスには対応していません。

SIMATIC Logon は、V1.4.2 以降のトラストをサポートします。

トラストは、一方向または双方向に設定できます。

Domain Forest Level におけるトラストは、自動推移的で、SIMATIC Logon によるログオンに使用できます。

外部 trust と"選択認証"が使用されていると、"認証許可"認証を各"MICREX-NX コンピュータオブジェクト"に設定する必要があります。

その後、SIMATIC Logon によるログオンが動作します。

ただし、外部トラストが使用されていると、ログオン性能が低下します。

ユーザー管理および電子署名

はじめに

プロセス制御システムによってモニタ/制御しているプラントには、機能やプラントエリアへアクセスすることに関して、特有の要件があります。

重要な要件

プラントの妥当性の検証では、以下の要件が重要です。

- 権限のない、または望ましくないプラントへのアクセスを防ぐためにアクセス権を割り当てるためのユーザー管理
- 重要なアクションの検証の作成とアーカイブ

要件の実現

SIMATIC コンポーネントを使用するプラントでは、以下のコンポーネントを使用して、プラントを検証できます。

コンポーネント	適用範囲	セクションに記載
SIMATIC Logon	ユーザー固有の権限の割り付け	SIMATIC Logon (ページ 23)
SIMATIC 電子署名	必要な検証の問い合わせとアーカイブ	SIMATIC 電子署名 (ページ 73)

FDA 21 CFR Part 11

SIMATIC Logon および SIMATIC 電子署名は、FDA 21 CFR Part 11 に準拠してプラント検証を簡易化します。このワールドワイドに広く認知されたガイドラインおよび要件は、米国 FDA (Food and Drug Administration、米国医薬食料品局) により規定されたものです。

ハードウェアおよびソフトウェア要件

ハードウェア要件

最新のハードウェア要件は、readme ファイルを参照してください。スタートメニューからこのファイルを開くことができます。

Siemens Automation > マニュアル > Readme > 言語 > SL – Readme

ソフトウェア要件

最新のソフトウェア要件は、readme ファイルを参照してください。スタートメニューからこのファイルを開くことができます。

Siemens Automation > マニュアル > Readme > 言語 > SL – Readme

供給内容

供給内容

SIMATIC Logon ソフトウェアパッケージは、以下のソフトウェアコンポーネントから構成されます。

ソフトウェアコンポーネント	適用範囲	セクションに記載
SIMATIC Logon サービス	SIMATIC アプリケーションおよびプラントエリアのための集中型アクセス保護	SIMATIC Logon サービス (ページ 28)
SIMATIC Logon 役割管理	アプリケーション、およびアプリケーションの Windows グループへの割り付け(権限の割り付けを含む)のための役割管理	SIMATIC Logon 役割管理 (ページ 49)
SIMATIC Logon イベント ログビューワー	SIMATIC Logon イベント ログビューワーは、アプリケーションイベントの記録および表示のタスクを担当するコンポーネントです。	SIMATIC Logon イベントログビューワー (ページ 69)
SIMATIC 電子署名	プロセスの状態変更およびプロセスへのアクセスを行うための電子署名の作成	SIMATIC 電子署名 (ページ 73)
SIMATIC Logon 開発キット	この開発キットは、SIMATIC Logon を顧客アプリケーションに統合することを望むプログラマ向けのものです。	SIMATIC Logon 開発キット (ページ 77)

注記

SIMATIC Logon には、ライセンスが必要です。

下記も参照

[SIMATIC Logon イベントログビューワー]ダイアログボックス (ページ 70)

インストール

6.1 インストールタスクの概要

インストールタスクの概要

SIMATIC Logon のインストールには、以下のタスクが含まれます。

- *SIMATIC Logon* のインストール (ページ 18)
- オペレーティングシステムでの必要な設定

ユーザー認証用集中型ログオンコンピュータ

ユーザー認証用集中型ログオンコンピュータを使用する場合は、次のセクションの注記を参照してください。

- 「*SIMATIC Logon* ログオンコンピュータが故障した場合の機能保持」 (ページ 20)

削除

SIMATIC Logon を削除したい場合は、次のセクションの手順を参照してください。

- *SIMATIC Logon* の削除方法 (ページ 21)

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新は、新規にインストールする場合と同様に行います。*SIMATIC Logon* のバージョンが既にインストール済みであるというメッセージは無視してください。

6.2 SIMATIC Logon のインストール方法

はじめに

SIMATIC Logon は、セットアッププログラムを使用してインストールします。

セットアップでは、以下のコンポーネントがインストールされます。

- **SIMATIC Logon サービス**
- SIMATIC Logon 役割管理
- **SIMATIC Logon イベントログ**
- SIMATIC 電子署名

要件

- 管理者権限を持つユーザーとして、**SIMATIC Logon** をインストールするコンピュータにログオンしていること
- Windows エクスプローラが開いていること
- 他のすべてのプログラムがシャットダウン済みであること

手順

インストール媒体に付属する該当文書を参照するか、製品のセットアップによって(たとえば、SIMATIC PCS 7 によって)SIMATIC Logon をインストールします。

6.3 オペレーティングシステムで必要な設定を行う方法

はじめに

このセクションは、Windows 管理者を対象とします。

必要条件

- オペレーティングシステムの管理を熟知していること。
- Windows で、"管理者"グループのメンバとしてログオンしていること。

Windows 「Logon_Administrator」グループのルール

- SIMATIC Logon をコンフィグレーションするには、「Logon_Administrator」と呼ばれる新しい Windows グループが必要です。
- Windows グループ「Logon_Administrator」のメンバであるすべてのユーザーは、[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスにアクセスする権限を持っています。

手順

1. Windows ユーザー管理で、すべての SIMATIC Logon ユーザーを入力します。
以下の項目を設定し、SIMATIC Logon におけるログオンユーザーのフルネームの表示を有効にします。
 - Windows ユーザー管理で、このユーザーの氏名を入力します。
2. SIMATIC Logon の設定の準備:Windows で、「Logon_Administrator」グループのセットアップを行います。
 - バックグラウンド:SIMATIC Logon の設定は、[SIMATIC Logon の設定]ダイアログボックスで後から行います(セクション「SIMATIC Logon の設定方法」(ページ 29)を参照)。このダイアログボックスで作業できるようにするには、Windows ユーザー管理で「Logon_Administrator」グループのセットアップを行う必要があります。

注記

「Logon_Administrator」グループのセットアップは、以下の媒体で行うことができます。

- ローカルステーション
- ローカルステーションでアクセスできるドメイン

3. 「Logon_Administrator」グループで、ユーザーを入力します。[SIMATIC Logon の設定]ダイアログボックスを操作するすべてのユーザーを「Logon_Administrator」グループに割り付けます。

6.4 SIMATIC Logon サーバが故障した場合の機能保持

故障の場合の機能保持

SIMATIC Logon サービス用ログオンコンピュータまたはドメインで作業する場合は、このコンピュータの故障に備えて以下のステップを実施することをお勧めします。

- ローカルコンピュータ上での、すべての必要な Windows グループと Windows ユーザーの設定
- ログオンコンピュータが故障した場合、[ログオン]ダイアログボックスの[ログオンコンピュータ]ドロップダウンボックスから、ログオンするローカルコンピュータを選択することができます。
- ログオン手順時にログオンコンピュータが故障した場合は、ログオン手順は自動的にローカルコンピュータ上で実行されます。故障と繰り返された認証手順は、SIMATIC Logon イベントログに記録されます。

6.5 SIMATIC Logon の削除方法

必要条件

SIMATIC Logon をアンインストールするコンピュータの管理者権限でログオンします。

注記

SIMATIC Logon を MICREX-NX と組み合わせて使用する場合、アンインストールは許可されません。

手順

1. Windows のスタートメニューから、**[スタート|設定|コントロールパネル]**を選択します。
[コントロールパネル]ダイアログが開きます。
2. 詳細表示で、**[プログラム]**をダブルクリックします。
3. エントリ**[SIMATIC Logon]**を選択します。
4. **[アンインストール]**ボタンをクリックします。
5. **[はい]**ボタンを使用して、SIMATIC Logon を本当にアンインストールするかどうかのプロンプトに応答します。
ソフトウェアを削除するためのダイアログが開き、アンインストール手順が開始されます。

結果

選択したコンポーネントがアンインストールされます。

注記

ソフトウェアの削除時にエラーが発生した場合は、管理者またはサービスホットラインに連絡してください。

6.5 SIMATIC Logon の削除方法

SIMATIC Logon

7.1 SIMATIC Logon について

SIMATIC Logon のコンポーネント

SIMATIC Logon では、SIMATIC アプリケーションおよびプラントエリアへの権限を割り付けることができます。SIMATIC Logon には、下記のソフトウェアコンポーネントがあります。

ソフトウェアコンポーネント	アプリケーションの領域	セクションで説明
SIMATIC Logon サービス	SIMATIC アプリケーションおよびプラントエリアへの集中アクセス保護	SIMATIC Logon サービス (ページ 28)
SIMATIC Logon 役割の管理	アプリケーションの役割管理と、Windows グループへの割り付け(権限の割り付けを含めて)	SIMATIC Logon 役割の管理 (ページ 49)
SIMATIC Logon Event Log Viewer	SIMATIC Logon Event Log Viewer は、アプリケーションのイベントのロギングおよび表示を処理するコンポーネントです。	SIMATIC Logon Event Log Viewer (ページ 70)
SIMATIC 電子署名	プロセスのステータス変更およびプロセスへのアクセス用の電子署名の作成	SIMATIC 電子署名 (ページ 73)
SIMATIC Logon Development Kit	Development Kit は、プログラマが顧客のアプリケーションに SIMATIC Logon を統合するために使用します。	SIMATIC Logon Development Kit (ページ 77)

SIMATIC Logon の起動

アプリケーション固有の呼び出しを使用して、アプリケーションが[SIMATIC Logon]ダイアログボックスを開きます。アプリケーション固有の SIMATIC Logon の呼び出しの起動の詳細については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

アプリケーションの必要条件

SIMATIC Logon コンポーネントは、SIMATIC Logon コンポーネントが統合されているアプリケーションのみに使用できます。

SIMATIC Logon コンポーネントが統合されているかどうかは、各アプリケーションの説明に記載されています。

例

SIMATIC Logon コンポーネントは、たとえば以下に概要を示すアプリケーションに統合されています。

- Automation License Manager
- WinCC
- SIMATIC BATCH
- STEP 7

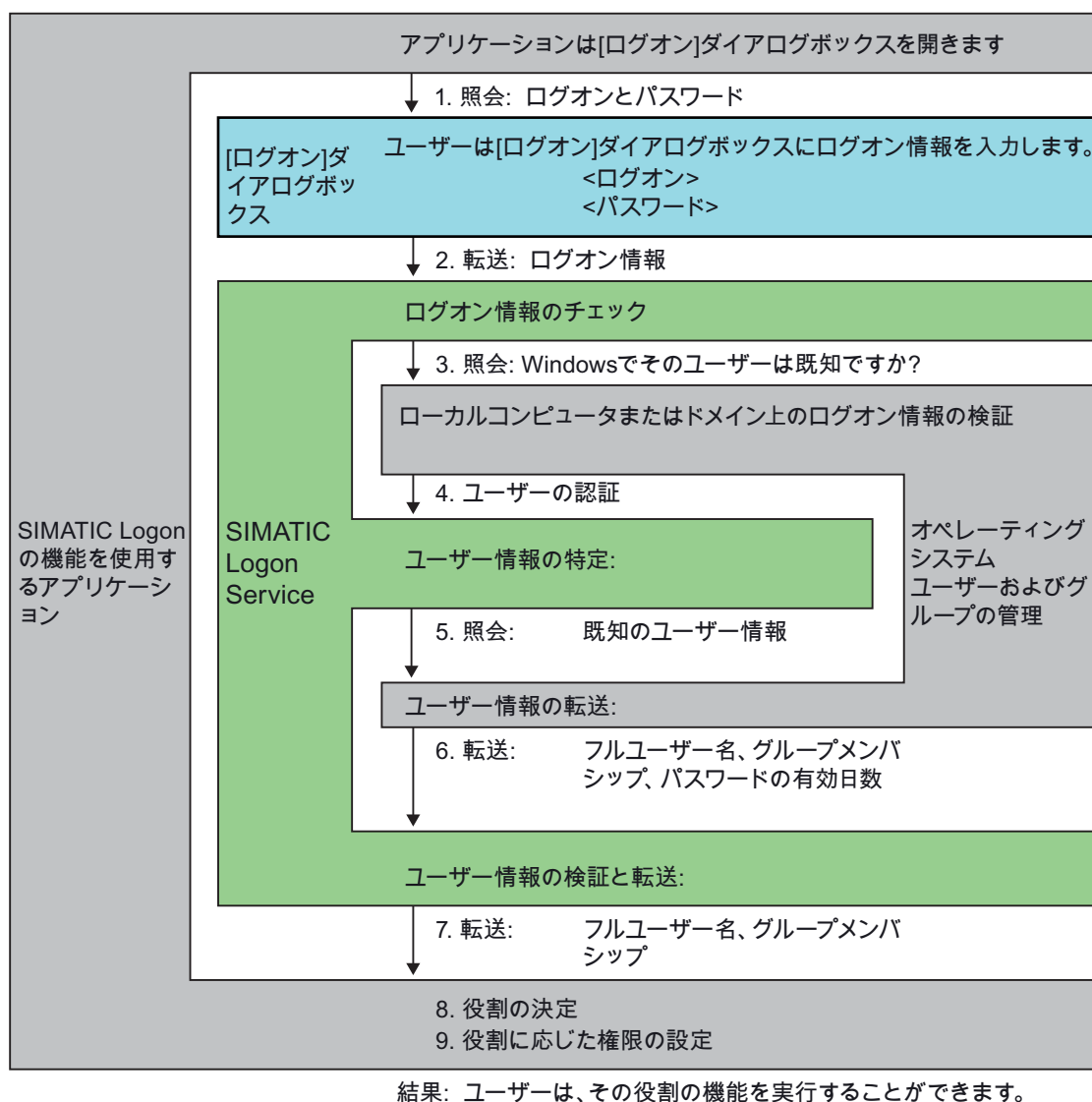
7.2 SIMATIC Logon サービスを使用したログオン処理

必要条件

ログオンルーチンが SIMATIC Logon で設定されていること(詳細については、「必要な設定タスクの概要 (ページ 27)」を参照)。

SIMATIC Logon サービスを使用したログオン処理

統合された SIMATIC Logon を使用した、アプリケーションへのユーザーログオンの自動処理を、下図に示します。



結果

ユーザーデータが SIMATIC Logon に登録されます。SIMATIC Logon を使用する他のアプリケーションは、SIMATIC Logon からのユーザーデータを自動的に受け取ります。

7.3 必要なコンフィグレーションタスクの概要

必要なコンフィグレーションタスクの概要

SIMATIC Logon サービスを使用してログオンするには、以下のコンフィグレーションタスクが必要です。

タスク	内容	場所	参照箇所
1	"Logon_Administrator"グループの設定	Windows ユーザー管理	オペレーティングシステムのオンラインヘルプ キーワード「ヘルプおよびサポート」で、オペレーティングシステムのオンラインヘルプを検索できます。
2	SIMATIC Logon のユーザーアカウントの設定	Windows ユーザー管理	オペレーティングシステムのオンラインヘルプ
3	Windows グループへの SIMATIC Logon ユーザーアカウントの追加	Windows ユーザー管理	オペレーティングシステムのオンラインヘルプ
4	ユーザー役割のコンフィグレーション	SIMATIC Logon 役割の管理	セクション「コンフィグレーションタスクの概要」(ページ 52)
5	[SIMATIC Logon の設定] ダイアログボックスにおける SIMATIC Logon のコンフィグレーション	[SIMATIC Logon の設定] ダイアログボックス	セクション <ul style="list-style-type: none"> • "「SIMATIC Logon のコンフィグレーションを開始する方法」(ページ 29) • "「[SIMATIC Logon の設定]ダイアログボックス」(ページ 30)

7.4 SIMATIC Logon サービス

7.4.1 SIMATIC Logon サービスについて

SIMATIC Logon サービス

SIMATIC Logon サービスは、SIMATIC Logon のベースになります。SIMATIC Logon サービスは、アプリケーション(たとえば、SIMATIC BATCH や WinCC)へのアクセス保護を実現します。アクセス保護は、Windows オペレーティングシステムのメカニズムに基づきます。ユーザーは、SIMATIC Logon サービス経由で、アプリケーションへログオン/ログオフします。

イベントの記録

SIMATIC Logon は、SIMATIC Logon イベントログビューワーを使用して、以下のイベントを記録します。

- 成功したログオン
- 失敗したログオンの試行
- ユーザーの認証
- ユーザーによるログオフ
- 自動ログオフ
- パスワードの変更

記録されたイベントは、SIMATIC Logon イベントログビューワーを使用して表示することができます。

詳細は、セクション「SIMATIC Logon イベントログビューワーを使用したログオンおよびログオフの追跡方法 (ページ 72)」を参照してください。 .

SIMATIC Logon サービスの Windows 設定

セクション「オペレーティングシステムで必要な設定を行う方法」 (ページ 19)では、Windows 設定を行う方法について説明します。

7.4.2 SIMATIC Logon のコンフィグレーション

7.4.2.1 SIMATIC Logon のコンフィグレーションを開始する方法

必要条件

操作者は、下記のグループのメンバーである必要があります。

- 「管理者」または「パワーユーザー」 Windows グループ
- "Logon_Administrator" Windows グループ

手順

1. メニューコマンド[**開始| SIMATIC | SIMATIC Logon | SIMATIC Logon の設定**]を選択します。
[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. ログオンダイアログボックスの入力フィールドに、ログオンデータを入力します。

入力フィールド	意味
ユーザー名	ユーザー名の入力
パスワード	パスワードの入力
ログオン先	ドメイン/ローカルコンピュータの選択

結果

ログオンが正常に行われると、[SIMATIC Logon の設定] (ページ 30)ダイアログボックスが開きます。

SIMATIC Logon コンピュータの異常

詳細は、セクション「SIMATIC Logon が失敗した場合の機能の保持 (ページ 20)」を参照してください。

7.4.2.2 [SIMATIC Logon のコンフィグレーション]ダイアログボックス

[SIMATIC Logon のコンフィグレーション]ダイアログボックス

[SIMATIC Logon のコンフィグレーション]ダイアログボックスには、以下のタブがあります。

タブ	設定
全般 (ページ 31)	<ul style="list-style-type: none"> 表示言語の選択 ISO 8601 に準拠した時刻表示の有効化 ログオンダイアログボックスに表示される注記の有効化(キーボード) "Default User"ファンクションの有効化 パスワード変更時のリマインダーの設定(パスワード期限切れの x 日前のリマインダー)
作業環境 (ページ 33)	ユーザーデータを取得するコンピュータの設定 <ul style="list-style-type: none"> 使用しているコンピュータまたは"Windows ドメインから" 別のコンピュータ(コンピュータ名を入力)から 高速ユーザーログオンの有効化:ドメインのグローバルグループ(安全グループ)およびローカルコンピュータグループのみが含まれます。
ログオンデバイス (ページ 35)	ログオン/認証を実行するデバイスの設定 <ul style="list-style-type: none"> キーボード スマートカードリーダー その他のデバイス オンスクリーンキーボードの有効化: <ul style="list-style-type: none"> Windows オンスクリーンキーボード("osk.exe") SIMATIC WinCC 7.3 および SIMATIC WinCC RT Prof. Edition V13 SP1 以降の WinCC キーボード(CConScreenKeyboard) その他のオンスクリーンキーボード(呼び出しパラメータを使用)
自動ログオフ (ページ 37)	SIMATIC Logon のログオフまでの待機時間の設定:
証明書 (ページ 38)	"SIMATIC Logon リモートアクセス"サービスの設定

自動ログオフ

注記

次のログオン操作の後に、ファンクション[Automatic logoff]が有効になります。

ログファイル

エラーは SIMATIC Logon のログファイルに記録されます。ログファイルを分析のために専門家に提供することができます。

ログファイルは次のフォルダにあります:

"...\Siemens\SimaticLogon\diagnostics"

7.4.2.3 全般的な設定を行う方法([全般]タブ)

はじめに

[SIMATIC Logon の設定]ダイアログボックスの[全般]タブでは、以下の設定を行うことができます。

- SIMATIC Logon の表示言語
- ISO 8601 に準拠した時刻表示
- ログオンダイアログボックスに表示される注記の有効化と入力
- "Default User"の有効化と変更
- パスワード期限の警告

ユーザーおよびグループを作成するルール

注記

他のすべてのユーザーとは異なり、"DefaultGroup"および"Default User"は Windows ユーザー管理で作成しないでください。"Default User"は、"DefaultGroup"のメンバーであり、"Emergency_Operator"の役割があります。これらの役割の権限は、それぞれのアプリケーションで決定します。

必要条件

- SIMATIC Logon の作業言語の文字セットが使用できること
- 操作者は、下記のグループのメンバである必要があります。
 - "管理者"または"パワーユーザー"Windows グループ
 - "Logon_Administrator"Windows グループ

手順

1. メニューコマンド[**開始** | **SIMATIC** | **SIMATIC Logon** | **SIMATIC Logon の設定**]を選択します。
[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. ログオンダイアログボックスの入力フィールドに、ログオンデータを入力します。
これに関する情報は、セクション「SIMATIC Logon の設定を開始する方法 (ページ 29)」にあります。
3. [言語]ドロップダウンリストで、表示言語を選択します。
インストール可能な言語
 - ドイツ語
 - 英語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - 日本語
 - 中国語
4. 日付と時刻を ISO 8601 のフォーマットで表示する必要がある場合は、[ISO 8601 に準じた日付/時刻の表示]チェックボックスをオンにします。この場合、時刻は CCYY-MM-DD hh:mm:ss ±hh:mm のフォーマットで表示されます。
最初の部分は協定世界時(UTC)を表わし、符合の後に現地時間との相違が示されます。CC: 世紀、YY: 年、MM: 月、DD: 日、hh: 時、mm: 分、ss: 秒です。
このオプションを選択しないと、日付と時刻は、現地時間のフォーマットで表示されます。
5. ログオンダイアログボックスに注記を表示する場合(キーボード)、チェックボックス[ログオン時に以下のテキストを表示する:]を選択し、表示したいテキストをテキストボックスに入力します。
6. システム起動およびユーザーログオフ時に常に"Default User"をログオンする場合は、[ユーザーが明示的にログオンされない場合に使用するデータ]チェックボックスをオンにします。
このチェックボックスをオンにすると、グループおよびユーザーの名前を入力/変更することができます。名前の長さは、1 文字以上でなければなりません。

7. 有効な期間に制限があるパスワードを割り付けた場合は、入力フィールド[パスワード期限切れの事前通知日数]に設定したい値を入力します。
設定範囲: 0 日(警告なし)~最大 999 日
8. [適用]または[OK]をクリックします。

注記

変更は、プログラムの再起動後に有効になります。

7.4.2.4 SIMATIC Logon の作業環境をコンフィグレーションする方法([作業環境]タブ)

はじめに

[SIMATIC Logon の設定]ダイアログボックスの[作業環境]タブで、下記を設定できます。

- ユーザーデータの取得元となるコンピュータを設定します。
コンピュータのアクセス保護を有効にするには、ユーザーデータをどこから取得するかを SIMATIC Logon が把握する必要があります。以下の設定が可能です。ユーザーデータを取得する場所:
 - このコンピュータまたは Windows ドメイン
 - 他のコンピュータ(コンピュータ名を入力)から
- 高速ユーザーログオンの有効化: ドメインのグローバルグループ(安全グループ)およびローカルコンピュータグループのみが含まれます。

使用しているコンピュータまたは Windows ドメインからユーザーデータを取得

作業環境でドメインサーバーを使用できる場合は、SIMATIC Logon を使用して、グループ管理およびユーザー管理機能を活用できます。ドメインサーバーでグループおよびユーザー管理を一度使用すれば、そのドメインに属するすべての PC をグループおよびユーザーにアクセスさせることができます。

ログイン実行時に、コンピュータがドメインに属さないか、またはドメインコンピュータを使用できない場合、自動的にローカルコンピュータにログインします。

注記

ドメインサーバーには、SIMATIC Logon をインストールする必要はありません。

他のコンピュータからのユーザーデータの取得

他のコンピュータからユーザーデータを取得する場合、コンピュータを指定する必要があります。入力フィールドに該当するコンピュータ名を入力します。これにより、このコンピュータ上のグループとユーザーを管理するだけで、ユーザーデータが取得できます。

注記

ユーザーデータを提供するステーションに、SIMATIC Logon をインストールする必要があります。

高速ユーザーログオンの有効化:

このオプションが選択されると、以下のグループのみが SIMATIC Logon へのログオン時に含まれます。

- ドメインのグローバルグループ(安全グループ)および
- ローカルコンピュータグループ

それ以外の場合、SIMATIC Logon にはデフォルトで以下のユーザーグループが含まれます:

- ドメインのグローバルグループ(安全グループ)
- ローカルコンピュータグループ
- ローカルコンピュータグループ(安全グループ)
- ローカルドメイングループ(配信グループ)
- グローバルドメイングループ(配信グループ)
- 共通のドメイングループ(配信グループ)

必要条件

操作者は、下記のグループのメンバである必要があります。

- 「管理者」または「パワーユーザー」 Windows グループ
- "Logon_Administrator" Windows グループ

手順

1. メニューコマンド[**開始 | SIMATIC | SIMATIC Logon | SIMATIC Logon の設定**]を選択します。
[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. ログオンダイアログボックスの入力フィールドに、ログオンデータを入力します。
これに関する情報は、セクション「SIMATIC Logon のコンフィグレーションを開始する方法 (ページ 29)」にあります。
3. [作業環境]タブを選択します。
4. 下記を設定します。
 - SIMATIC Logon ユーザーデータがドメインまたは単一ユーザーステーションから提供される場合、[このコンピュータまたは Windows ドメインから]チェックボックスを有効にします。
 - SIMATIC Logon ユーザーデータが SIMATIC Logon グループのログオンステーションから提供される場合、[他のコンピュータから]チェックボックスを有効にして、各入力ボックスにこのステーションの名前を入力します。
IP アドレス入力はサポートされていません。
 - 高速ユーザーログオンを使用する場合は、チェックボックス[ドメインのグローバルグループ(安全グループ)およびコンピュータのローカルグループを含む]を選択します。
5. [適用]または[OK]をクリックします。

7.4.2.5 ログオンデバイスをコンフィグレーションする方法([ログオンデバイス]タブ)

はじめに

[SIMATIC Logon の設定]ダイアログボックスの[ログオンデバイス]タブでは、以下の設定を行うことができます。

- アクセス保護が有効になっているアプリケーションのログオンは、以下の方法で実行することができます。
 - ログオンダイアログボックスによるログオン(キーボード)
 - スマートカードリーダーによるログオン
 - 他のデバイスからのログオン(指紋認証デバイスなど)
 - スクリーンキーボードによるログオン

ログオンデバイスについての追加情報は、セクション「SIMATIC Logon サービスによるログオン (ページ 41)」にあります。

- オンスクリーンキーボードの有効化:
 - Windows オンスクリーンキーボード("osk.exe")
 - SIMATIC WinCC 7.3 および SIMATIC WinCC RT Prof. Edition V13 SP1 以降の WinCC キーボード(CConScreenKeyboard)
 - その他のオンスクリーンキーボード(呼び出しパラメータを使用)

必要条件

操作者は、下記のグループのメンバである必要があります。

- 「管理者」または「パワーユーザー」 Windows グループ
- "Logon_Administrator"Windows グループ

手順

1. メニューコマンド[**開始 | SIMATIC | SIMATIC Logon | SIMATIC Logon の設定**]を選択します。
[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. ログオンダイアログボックスの入力フィールドに、ログオンデータを入力します。
これに関する情報は、セクション「SIMATIC Logon の設定を開始する方法 (ページ 29)」にあります。
3. 「ログオンデバイス」タブを選択します。
4. 下記を設定します。
 - ログオンデバイスとしてキーボードを使用する場合、チェックボックス[キーボードによるログオン]を選択します。
 - ログオンデバイスとしてチップカードリーダーを使用する場合、チェックボックス[チップカードリーダーによるログオン]を選択し、ドロップダウンリストからデバイスを選択します。
 - ログオンデバイスとしてキーボードまたはチップカードリーダー以外のデバイスを使用する場合、チェックボックス[他のデバイスによるログオン]を選択します。
 - オンスクリーンキーボードを使用する場合、チェックボックス[オンスクリーンキーボードを使用する]を選択し、対応するオンスクリーンキーボードプログラムを選択します。デフォルトは、Windows オンスクリーンキーボード("osk.exe")です。
5. [適用]または[OK]をクリックします。

[他のデバイスによるログオン]用のドライバ

注記

メーカーから[他のデバイスによるログオン]用のドライバを入手する必要があります。使用可能なデバイスと関連したドライバについては、シーメンスの代理店にお問い合わせください。

7.4.2.6 自動ログオフをコンフィグレーションする方法([自動ログオフ]タブ)

はじめに

SIMATIC Logon によるアクセス管理用の[自動ログオフ]を有効化、および設定することができます。

[自動ログオフ]が有効で、マウスとキーが一定時間操作されない場合、SIMATIC Logon アクセス管理によってユーザーは自動的にログオフされます。

選択した待ち時間が経過すると、自動ログオフを知らせるメッセージが表示されます。ユーザーは、マウスやキーを操作して、待ち時間を再設定することができます。これは、意図しないログオフを防ぎます。

注記

ユーザーは、待ち時間なしに、いつでもログオフすることができます。

[自動ログオフ]チェックボックスをオンにした場合のログオフ処理と設定

待ち時間"x"分の間、コンピュータ上にアクティビティがないと、ログオフが開始されます。

- ユーザーが"y"秒後にログオフされることを示すダイアログボックスが表示されます。
- "x"分+"y"秒後にログオフ処理が完了します。

設定	から	まで
遅延時間"x"(分単位)	1	999
自動ログオフまでの時間"y"(秒単位)	0	999

要件

ユーザーが以下のグループのメンバーであること

- Windows グループ「管理者」または「パワーユーザー」
- Windows グループ「Logon_Administrator」

手順

1. メニューコマンド[スタート|SIMATIC|SIMATIC Logon|SIMATIC Logon のコンフィギュレーション]を選択します。
[SIMATIC Logon のコンフィギュレーション]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. そのログオンダイアログボックスの入力ボックスに、ユーザーのログオン情報を入力します。
詳細は、セクション「SIMATIC Logon のコンフィギュレーションを開始する方法」(ページ 29)を参照してください。
3. [自動ログオフ]タブを開きます。
4. [自動ログオフ]チェックボックスをオンにします。
5. 自動ログオフの通知が表示されるまでの待ち時間を入力します。
6. 自動ログオフの通知を表示する時間幅を入力します。
7. [適用]ボタンまたは[OK]ボタンをクリックします。

7.4.2.7 "SIMATIC Logon リモートアクセス"サービスの証明書([証明書]タブ)の設定方法

はじめに

"SIMATIC Logon リモートアクセス"でのアクセス管理のために、"証明書"による安全な接続を使用することができます。"証明書"がない場合は、安全でない接続しか使用できません。

安全な接続は、Transport Layer Security (TLS) v1.2 を使用して確立されます。TLS 1.2 により、サーバー(SIMATIC Logon PC)とクライアント間の通信全体が暗号化されます。

自己署名の証明書と認証機関が発行した証明書の両方を使用できます。

必要条件

- 操作者は、下記のグループのメンバーである必要があります。
 - "管理者"Windows グループ
 - "Logon_Administrator"Windows グループ
- PEM フォーマット(.pem)の証明書ファイルとプライベートキーが、安全な接続を確立するために SIMATIC Logon コンピュータに保存されていること。

- 証明書とプライベートキーを 1 つまたは 2 つの PEM ファイルに収容可能であること。
- ファイアウォールルールが、Windows ファイアウォールに対して SIMATIC Logon で自動的に作成されること。異なったファイアウォールを使用している場合、これらのルールは管理者が管理する必要があります。

暗号化の設定手順

1. メニューコマンド[**開始 | SIMATIC | SIMATIC Logon | SIMATIC Logon の設定**]を選択します。
[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. ログオンダイアログボックスの入力フィールドに、ログオンデータを入力します。
これに関する情報は、セクション「SIMATIC Logon の設定を開始する方法 (ページ 29)」にあります。
3. [証明書]タブを選択します。
4. サーバー(SIMATIC Logon PC)に保存される証明書ファイル(.pem)とプライベートキーを選択します。証明書とプライベートキーが 1 つのファイル内に存在している場合、このファイルは"証明書"と"プライベートキー"の両方に対して選択されます。
5. 証明書の詳細は、下側のエリアに表示されます。
6. [TLS による安全な接続]または[安全でない接続]チェックボックスを選択します。
 - 両方のオプションが設定されている場合、安全でない接続と安全な接続の両方が許可されます。
 - オプションが設定されていない場合、サービスはいかなる接続も受け入れません。
 - [TLS による安全な接続]オプションを設定すると、安全な接続が受け入れられます。
 - [安全でない接続]オプションを設定すると、安全でない接続のみが受け入れられます。
7. [適用]をクリックして、表示される指示(PC の再起動)に従います。

証明書の削除手順

1. メニューコマンド[**開始 | SIMATIC | SIMATIC Logon | SIMATIC Logon の設定**]を選択します。
[SIMATIC Logon の設定]ログオンダイアログボックスが開きます。
2. ログオンダイアログボックスの入力フィールドに、ログオンデータを入力します。
これに関する情報は、セクション「SIMATIC Logon の設定を開始する方法 (ページ 29)」にあります。
3. [証明書]タブを選択します。
4. 証明書の詳細は、下側のエリアに表示されます。
5. [証明書の削除]をクリックします。
6. [適用]をクリックして、表示される指示に従います。

注記

SIMATIC Logon には、削除された証明書を復元するオプションはありません。削除する前に、必ず証明書のコピーをバックアップしてください。

7.4.2.8 ユーザーの追加方法

手順

1. Windows で、ユーザーアカウントを設定します。
2. ユーザーを適切な Windows グループに割り付けます。
3. SIMATIC Logon 役割管理 (ページ 49)を使用して、SIMATIC アプリケーションおよびプラントエリアの権限のコンフィグレーションを行います。

追加情報

- オペレーティングシステムのオンラインヘルプ
オペレーティングシステムのオンラインヘルプは、メニューコマンド[スタート|ヘルプとサポート]を使用して開くことができます。

7.4.2.9 ユーザーの削除方法

手順

1. SIMATIC Logon 役割管理を使用して、アプリケーションからユーザーを削除します。
2. 特定の用途のグループからユーザーを削除します。
3. Windows グループからユーザーを削除します。
4. Windows ユーザーとしてユーザーを削除します。

7.4.3 SIMATIC Logon を使用したログオン

7.4.3.1 SIMATIC Logon サービスを使用したログオン

ログオンのタイプ

SIMATIC Logon サービスは、以下の 2 つのタイプのログオンを区別します。

- ユーザー識別
これは、ユーザーが認証可能かどうか、さらにユーザーが該当のアプリケーションのための権限を持つかどうかをチェックします。
- ワンタイムログオン:
認証に続いて、ユーザーは、このログオン方法(シングルサインオン)をサポートするすべてのアプリケーションに対してログオンします。複数回のログオンやログオンの変更は不要です。

この方法では、アプリケーションのデータが失われる可能性があるため、ユーザーのログオフやログオンの変更は拒否される場合があります。

現在使用されているログオンのタイプは、ログオンダイアログボックスのタイトルバーに表示されます。

ログオンオプション

アクセス保護が有効化されているアプリケーションにログオンするには、以下のオプションの 1 つを選択することができます。

- ログオンダイアログボックスを使用したログオン(キーボード) (ページ 42)
- スマートカードリーダーからのログオン (ページ 43)
- 別のデバイスを使用したログオン (ページ 48)

ログオフ時のアクション

ログオン時、使用するログオンデバイスに関係なく、以下のアクションが実行されます。

- ユーザーの認証
- フルユーザー名の識別

- パスワードエージチェック(オプション)
- ログオンユーザーが属する Windows グループの識別

注記

ユーザーを認証できる場合、そのユーザーには自動的に役割「Emergency_Operator」が割り付けられます。アプリケーションがこの役割をサポートしている場合は、ユーザーは、設定された権限に従って、アクションを実行することができます。

"Emergency_Operator"グループは、Windows ユーザー管理で作成する必要はありません。

SIMATIC Logon によりログオンするためのデバイスのコンフィグレーション

SIMATIC Logon でログオンするデバイスのコンフィグレーションについては、セクション「ログオンデバイスをコンフィグレーションする方法([ログオンデバイス]タブ)」(ページ 35)を参照してください。

SIMATIC Logon サービスの呼び出し

SIMATIC Logon サービスは、このサービスが組み込まれたアプリケーションのユーザーインターフェースから開始します。Windows で、独立して起動することはできません。

7.4.3.2 ログオンダイアログボックスを使用したログオン(キーボード)

ログオン/オフ用ダイアログボックスを開く

ログオン/オフ用ダイアログボックスは、このサービスが組み込まれたアプリケーションのユーザーインターフェースから開始します。Windows で、独立して起動することはできません。

ログオン/オフ用ダイアログボックス

ログオン/オフ用ダイアログボックスには、以下の入力ボックスがあります。

入力ボックス	意味
ユーザー名	ユーザー名を入力します
パスワード	ユーザーパスワードを入力します
ログオン対象	ドメイン/ローカルコンピュータを選択します

パスワード変更用ダイアログボックス

ログオン/オフ用ダイアログボックスから、パスワード変更用ダイアログボックスを開くこともできます。パスワード変更用ダイアログボックスには、以下の入力ボックスがあります。

入力ボックス	意味
ユーザー名	ユーザー名を入力します
ログオン対象	ドメイン/ローカルコンピュータを選択します
古いパスワード	これまで使用していたパスワードを入力します
新しいパスワード	今後使用するパスワードを入力します
パスワードの確認	もう一度、今後使用するパスワードを入力します

7.4.3.3 スマートカードリーダーによるログオン

はじめに

SIMATIC Logon は、スマートカードおよびスマートカードリーダーを使用した SIMATIC アプリケーションによるログオンをサポートしています。

本セクションでは、満たすべき要件とスマートカードの設定方法について説明します。

注記

スマートカードリーダーをログオンデバイスとして使用するには、各ユーザーがスマートカードを所有している必要があります。

スマートカードリーダー(USB または COM ポートに接続)を使用するための要件

- スマートカードリーダーが PC/SC の仕様を満たしていること。
- スマートカードリーダーがメーカーの指示に従って接続されていて、対応するドライバがインストールされていること。

- [ログオンデバイス]タブの[SIMATIC Logon の設定]でスマートカードリーダーを選択し、[OK]または[適用]で設定を有効にします。
- Microsoft Remote Desktop Protocol (RDP)は SIMATIC Logon バージョン 1.5.3 以降でサポートされています。
 - SIMATIC Logon PC へのリモートデスクトップ接続を確立する前に、ローカルリソースの RDP のオプションで[スマートカード]オプションが選択されているかどうかチェックします。
 - RDP 経由で SIMATIC Logon PC にログオンします。
 - [ログオンデバイス]タブの[SIMATIC Logon の設定]でスマートカードリーダーを選択し、[OK]または[適用]で設定を有効にします。同じ名前のローカルおよびリモートのスマートカードリーダーが使用可能で、スマートカードリーダーがローカルで選択済みの場合、これは必要ありません。
 - 同じ名前のローカルおよびリモートのスマートカードリーダーが存在していない場合は、RDP 接続を終了する前に、設定をキーボードに切り替える必要があります。

ルール

注記

SIMATIC Logon は、Readme にリストされたオペレーティングシステムでスマートカードをサポートします。

SIMATIC Logon バージョン 1.3 以降では、スマートカードのデータフォーマットが変更されています。前のバージョンで作成されたスマートカードは使用できなくなっているため、書き換える必要があります。

Windows パスワードを変更した後も、スマートカードを書き換える必要があります。これを行わない場合、スマートカードに"旧"パスワードが入っているためログオン手順が拒否されます。

SIMATIC Logon がサポートしているユーザー認証は、1 要素認証セキュリティレベル(1-FA = スマートカードを所有)だけでなく、2 要素認証セキュリティレベル(2-FA = スマートカードを所有し、スマートカードパスワードを認識)もサポートしています。カードを紛失した場合は、カードの所有者の Windows パスワードを変更する必要があります。

2-FA が推奨されています。現在、TCOS 3 スマートカードのみがサポートされています。2-FA のみにしたい場合は、適切な処置を講じて 1-FA のスマートカードが作成、使用されないようにします。

スマートカードの設定

1. [デスクトップ|スマートカードの編集]の **SIMATIC Logon** リンクを開く
[SIMATIC ログオンサービス - スマートカードの編集]ダイアログボックスが表示されます。
2. 以下のデータを入力します。
 - Logon PC
 - ユーザー名
 - パスワード
 - パスワードの設定
3. 1-FA を使用するには、[スマートカードパスワードでデータを保護]のチェックマークを外し、2-FA がデフォルトでコンフィグレーションされるようにします。
4. スマートカードリーダーにスマートカードを挿入します(リーダー)。
5. [スマートカードにデータを書き込み]ボタンをクリックします。
[SIMATIC ログオンサービス - スマートカードパスワードの入力]ダイアログボックスが表示されます。
6. 2-FA に以下のデータを入力します:

注記

スマートカードパスワードの最小文字数

スマートカードパスワードは最小 8 文字、最大 50 文字で構成する必要があります。

- スマートカードパスワード
- スマートカードパスワードの確認

7. [OK]をクリックします。

システムが入力されたデータをチェックします。カードが TCOS3 カードでない場合、エラーメッセージ"挿入されたスマートカードは現在の操作に対してサポートされていません"が表示されます。認証が正常に終了すると、システムがスマートカードにデータを書き込みます。

スマートカードの読み取り/チェック

1-FA を使用したい場合は、以下の手順に従います。

1. [デスクトップ|スマートカードの編集]の **SIMATIC Logon** リンクを開く
[SIMATIC ログオンサービス - スマートカードの編集]ダイアログボックスが表示されます。
2. [スマートカードからデータを読み取り]ボタンをクリックします。

スマートカードのデータが正しい場合、ログオン PC とユーザー名が対応するフィールドに表示されます。パスワードは表示されません。

2-FA を使用したい場合は、以下の手順に従います。

1. [デスクトップ|スマートカードの編集]の SIMATIC Logon リンクを開く
[SIMATIC ログオンサービス - スマートカードの編集]ダイアログボックスが表示されます。
2. [スマートカードからデータを読み取り]ボタンをクリックします。
[SIMATIC Logon:スマートカードパスワードの入力]ダイアログボックスが表示されます。
3. スマートカードパスワードを入力します。

スマートカードのデータに問題がなく、スマートカードパスワードが正しい場合、ログオン PC とユーザー名が対応するフィールドに表示されます。パスワードは表示されません。

データの削除

データを削除するには以下の手順に従います。

1. スマートカードからデータを読み取ります。
2. [スマートカードのデータを削除]ボタンをクリックします。

スマートカードでのログオン

1-FA を使用したい場合は、以下のようにログオンします。

1. スマートカードリーダーにスマートカードを挿入します。
これで、システムにログオンしました。

2-FA を使用したい場合は、以下のようにログオンします。

1. スマートカードリーダーにスマートカードを挿入します。
[SIMATIC Logon:スマートカードパスワードの入力]ダイアログボックスが表示されます。
2. スマートカードパスワードを入力します。
3. [OK]をクリックします。
これで、システムにログオンしました。

2-FA でのログオン中のエラー

2-FA でログオンする場合、以下のエラーメッセージが発生することがあります。

- エラーメッセージ"スマートカードのデータの統合チェックにエラーがあります。"
考えられる原因は次のとおりです。
 - 入力されたスマートカードパスワードが正しくありません。
 - スマートカードのデータが損傷している。
 - スマートカードのデータが操作されている。

注記

スマートカードパスワードの入力は 10 回まで試行できます。

- プロセスを繰り返すには、[繰り返し]ボタンをクリックします。プロセスをキャンセルするには、[キャンセル]ボタンをクリックします。
- エラーメッセージ"挿入されたスマートカードはコピーです。ログオン手順を中止しています。"
[OK]をクリックします。
- エラーメッセージ"スマートカードのデータを読み取れませんでした。ログオン手順を中止しています。"
[OK]をクリックします。
- エラーメッセージ"スマートカードのデータが SIMATIC Logon のインストールでサポートされていません。ログオン手順を中止しています。"
[OK]をクリックします。
- エラーメッセージ"スマートカードのデータを処理できません。ログオン手順を中止しています。"
[OK]をクリックします。

スマートカードでのログオフ

システムからログオフするには、スマートカードリーダーからスマートカードを取り出します。

7.4.3.4 別のデバイスを使用したログオン

はじめに

コンピュータにログオンするユーザーを識別するために、キーボードやスマートカードリーダーに加えて、「別のデバイス」を使用することができます。たとえば、ユーザーの指紋を識別できるデバイスが使用可能です。

使用可能なデバイスおよびドライバ

使用可能なシステム、ドライバ、およびインターフェースパラメータについては、お問い合わせ窓口にご相談ください。

7.4.3.5 画面キーボードからのログオン

画面キーボードの有効化

画面キーボードの有効化は、[SIMATIC Logon のコンフィグレーション]ダイアログボックスの[ログオンデバイス]タブで行います。

画面キーボードの使用

画面キーボードは、他の入力デバイスとともに、または、唯一のログオン方法として(たとえば、ログオンデバイスが故障した場合)使用します。

7.5 SIMATIC Logon 役割の管理

7.5.1 SIMATIC Logon 役割管理について

SIMATIC Logon 役割の管理

SIMATIC Logon 役割の管理は SIMATIC Logon コンポーネントの集合体で、役割の作成、役割の割り付け、オペレーティングシステムのユーザーやグループ、役割に対し機能権限を割り付けるために使用されます。

役割とは

役割には、データの転送など、アプリケーションの中での特定の処理を実行するグループ/ユーザーの権利が含まれています。

フェーズとは

フェーズは、あらかじめ定義された期間です。

役割管理とは

役割管理は、ユーザーやグループによって、アプリケーションおよび機能へのアクセスを規制するために使用されます。

- アクセス保護は、アプリケーションや機能を使用するユーザーに対し、システムにログオンすることを強制します。
- 役割に対して特定のタスクを割り付けることによって、ユーザーおよびグループに権限を割り付ける作業が簡単に行えます。
- ユーザー管理は、オペレーティングシステムのユーザーおよびグループに基づいています。

画像のコピーに関する注意事項

注記

グループおよびユーザーは、[セキュリティ ID]を使用して、役割管理に保存されます。この ID はオペレーティングシステムによって割り付けられ、連続番号が付けられます。

コンピュータ画像がロードされるとき、その画像が作成された時の位置で連続した番号が付けられます。

グループおよびユーザーがオペレーティングシステムのユーザー管理で再作成されると、以前とは別の[セキュリティ ID]が付けられることがあります。

そのため、画像をロードしたら、必ず目的とするグループおよびユーザーに役割が割り付けられているかどうかを確認します。割り付けられていない場合、役割を適用する必要があります。

必要条件

アプリケーションに SIMATIC Logon 役割の管理を使用するためには、下記の必要条件が満たされている必要があります。

- オペレーティングシステムのユーザーおよびグループが設定されていること。
- [アクセス保護]オプションおよび[ユーザー管理]オプションが、アプリケーションで有効になっていること。

SIMATIC Logon 役割の管理を開く

SIMATIC Logon 役割の管理は、このサービスが組み込まれているアプリケーションのユーザーインターフェースを使用して、起動します。Windows では起動できません。

言語

SIMATIC Logon 役割の管理のデフォルトの言語設定は、下記のとおりです。

- その言語が SIMATIC Logon にインストールされた時に、個々のアプリケーションに設定された言語。
- 関連するアプリケーションに設定されている言語が使用できない場合は、英語です。

7.5.2 SIMATIC Logon 役割管理の構造

アプリケーションダイアログの構造

SIMATIC Logon 役割管理アプリケーションダイアログでは、メニューガイド方式で作業を行います。SIMATIC Logon 役割管理の構造を以下に示します。

- SIMATIC Logon 役割管理を操作するメニューバー
- 選択したファンクションに素早くアクセスするためのツールバー
- ダイアログウィンドウは、以下の 4 つのグループに分割されています。
 - グループ 1: 設定された役割と割り付けタイプ
 - グループ 2: [設定された役割と割り付けタイプ]で選択された要素についての詳細
 - グループ 3: 使用可能な割り付けタイプ(グループとユーザー、ログオンステーション、機能権限など)
 - グループ 4: [使用可能な割り付けタイプ]で選択したタイプの要素
- ショートカットメニューとキーの組み合わせ(ショートカット、ホットキー)は、SIMATIC Logon での作業を容易にします。

アプリケーションダイアログでの作業

操作	コマンド	このセクションで参照可能な追加情報
メニューコマンド	メニューコマンドを使用して、SIMATIC Logon 役割管理のすべての機能を呼び出すことができます。	
ドラッグアンドドロップ	コピーと貼り付け <ul style="list-style-type: none"> • [設定された役割と割り付けタイプ]グループで、割り付けタイプを選択します。 • [使用可能な割り付けタイプ]グループで、該当の割り付けタイプを選択します。 • [設定された役割と割り付けタイプ]グループの詳細ビューに、必要で可能なオブジェクトをドラッグします。 	

操作	コマンド	このセクションで参照可能な追加情報
ショートカットメニュー	<ul style="list-style-type: none"> コピー 貼り付け 削除 	ショートカットメニューを使用した操作 (ページ 63)
アイコン	<ul style="list-style-type: none"> コピー 貼り付け 削除 	ツールバー (ページ 65)
キーの組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> コピー 貼り付け 削除 	キーの組み合わせ (ページ 62)

変更の適用

注記

SIMATIC Logon 役割管理での変更は、保存する必要があります。 これを行うには、メニューコマンド[ファイル]保存を選択します。

7.5.3 アプリケーションに対する権限の割り付け

7.5.3.1 コンフィグレーションタスクの概要



コンフィグレーションタスクの概要

アプリケーションに対する権限のコンフィグレーションには、以下のトピックが含まれます。

- 役割の作成 (ページ 53)
- 役割のコンフィグレーション (ページ 54)
- 役割のプロパティの変更 (ページ 59)
- 役割管理のデータのエクスポート (ページ 60)
- グループとユーザーの割り付けの変更 (ページ 60)
- プロジェクトパスワードの変更 (ページ 61)

7.5.3.2 役割の作成方法

手順

1. メニューコマンド**[編集]>[役割の新規作成]**を選択します。
2. [役割名]テキストボックスに役割の名前を入力します。
3. [詳細]テキストボックスには、役割の詳細を記述することができます。
4. オプション:役割にフェーズを割り付けます。このためには以下のシンボルを使用します
 -  利用できるフェーズを割り付ける
 -  不要なフェーズを削除する
5. [OK]をクリックします。

結果

「新しい役割」が、[設定された役割と割り付けタイプ]ナビゲーションビューに作成されます。以下のフォルダが、フォルダ「新しい役割」に作成されます。

- グループおよびユーザー
- 機能権限
- セキュリティエリア
- ログオンステーション

アプリケーションは、通常、指定されたカテゴリをすべてサポートするわけではありません。アプリケーションがサポートしているタイプとオプションについては、アプリケーションの該当の文書を参照してください。

変更の適用

注記

SIMATIC Logon 役割の管理で実行した変更は、すべて保存する必要があります。メニューコマンド**[ファイル]>[保存]**を選択します。

7.5.3.3 役割の設定方法

はじめに

役割は、下記の種類で割り付けることができます。

- グループおよびユーザー
- 機能権限
- ログオンステーション
- フェーズ

グループ、ユーザー、ログオンステーションには、セキュリティエリアを割り付けることができます。

通常は、定義された割付の種類には、アプリケーションがサポートしないものもあります。対応するアプリケーションのマニュアルに、サポートされる割付の種類が記載されています。

役割設定の拡張

役割設定を拡張するには、下記の手順で実行します。

1. [設定された役割および割付の種類]リストで、役割に追加する割付の種類をクリックし選択します。
2. メニューコマンド**[編集]>[編集]**を選択します。
下記の対応するダイログボックスが開きます。
 - グループとユーザーの編集 (ページ 55)
 - 機能権限の編集 (ページ 56)
 - ログオンステーションの編集 (ページ 56)
 - フェーズの編集 (ページ 57)
 - セキュリティエリアの編集 (ページ 57)
3. ダイアログボックスを[OK]を押して終了すると、役割の割付の種類が表示されます。

役割の割付種類のオブジェクトの削除

割付種類の設定されたオブジェクトのみを、削除できます。

1. [設定された役割および割付の種類]リストで、役割から削除する割付の種類をクリックし選択します。
 - グループおよびユーザー
 - 機能権限
 - ログオンステーション
 - フェーズ
 - セキュリティエリア
2. [役割：<選択された役割の名前>]リストで、削除する割付種類のオブジェクトをクリックし選択します。
3. メニューコマンド**[編集]>[削除]**を選択します。
[役割：<選択した役割の名前>]リストに、その役割の割付種類で残っているオブジェクトがすべて表示されます。

変更の有効化

注記

SIMATIC Logon 役割の管理で実行した変更は、すべて保存する必要があります。 コマンド**[ファイル]>[保存]**を選択します。

ショートカットメニューによる操作

設定された割付種類は、ショートカットメニューコマンドを使用して編集することもできます。 ショートカットメニュー機能の概要は、セクション「[新規役割] (ページ 64) ショートカットメニュー」を参照してください。



7.5.3.4 グループおよびユーザーに役割を割り付ける方法

役割は、オペレーティングシステムのユーザー管理機能を使用して、ユーザーグループおよびユーザーに割り付けることができます。

手順

1. [ドメイン/コンピュータ]ドロップダウンリストから、コンフィグレーションの編集を行うコンピュータまたはドメインを選択します。
2. [名前テキストボックスにユーザーまたはユーザーグループの名前を入力します。フィルタ処理を行う場合は、「*」文字を名前を付加するか、「*」文字だけを使用します。

7.5 SIMATIC Logon 役割の管理

3. グループおよびユーザーのリストを作成する場合は、[すぐに検索]をクリックします。リストのコンパイルを停止するには、[停止]をクリックします。
4. 役割に割り付けるグループおよびユーザーを、[使用可能なグループおよびユーザー]リストから選択します。
5. Click .
選択されたグループおよびユーザーが、[設定されたグループおよびユーザー]リストに移動します。
6. をクリックして、[設定されたグループおよびユーザー]リストからグループおよびユーザーを削除します。
7. ステーションごとに、手順 1~4 を繰り返します。
8. [OK]をクリックして、[設定されたグループおよびユーザー]リストで設定されている、その役割に対するグループとユーザーを有効にします。



注記

アプリケーションの中には、単一のグループまたはユーザーしか許可しないものもあります。サポートされている各機能の詳細については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

7.5.3.5 役割に機能権限を割り付ける方法

役割に機能権限を割り付けることができます。

手順

1. 役割に割り付ける機能権限を、[使用可能な機能権限]リストから選択します。
2. をクリックします。
選択されたエントリが、[設定された機能権限]リストに移動します。
3. をクリックして、[設定された機能権限]リストからエントリを削除します。
4. [OK]をクリックして、[設定された機能権限]リストで設定されている、その役割に対する機能権限を有効にします。



注記

アプリケーションの中には、この機能をサポートしないものもあります。サポートされている各機能の詳細については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

7.5.3.6 役割にログオンステーションを割り付ける方法

役割にログオンステーションを割り付けることができます。

手順

1. 役割に割り付けるログオンステーションを、[使用可能なログオンステーション]リストから選択します。
2.  をクリックします。
選択されたエントリが、[設定されたログオンステーション]リストに移動します。
3.  をクリックして、[設定されたログオンステーション]リストからエントリを削除します。
4. [OK]をクリックして、[設定されたログオンステーション]リストで設定されている、その役割に対するログオンステーションを有効にします。



注記

アプリケーションの中には、この機能をサポートしないものもあります。サポートされている各機能の詳細については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

7.5.3.7 役割にフェーズを割り付ける方法

役割にフェーズを割り付けることができます。

手順

1. 役割に割り付けるフェーズを、[有効なフェーズ]リストから選択します。
2.  をクリックします。
選択されたエントリが、[設定されたフェーズ]リストに移動します。
3.  をクリックして、[設定されたフェーズ]リストに入力します。
4. [OK]をクリックして、[設定されたフェーズ]リストで設定されている、その役割に対するフェーズを有効にします。



注記

アプリケーションの中には、単一のグループまたはユーザーの割り付けしか許可しないものもあります。サポートされている各機能の詳細については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

7.5.3.8 グループとユーザーまたはログオンステーションにセキュリティエリアを割り付ける方法

グループとユーザーまたはログオンステーションに、1つまたは複数のセキュリティエリアを割り付けることができます。

手順

1. グループとユーザーまたはログオンステーションに割り付けるセキュリティエリアを、[使用可能なセキュリティエリア]リストから選択します。
 2.  をクリックします。
選択されたセキュリティエリアが、[設定されたセキュリティエリア]リストに移動します。
 3.  をクリックして、[設定されたセキュリティエリア]リストに入力します。
 4. [OK]をクリックして、[設定されたセキュリティエリア]リストに設定されているセキュリティエリアを有効にします。
-

注記

アプリケーションの中には、単一のグループまたはユーザーの割り付けしか許可しないものもあります。サポートされている各機能の詳細については、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

7.5.3.9 役割の削除方法

実際に作成した役割のみを削除できます。アプリケーションに含まれているデフォルトの役割は、削除できません。

呼び出しているアプリケーションに含まれているデフォルトの役割のリストについては、各マニュアルを参照してください。

手順

1. 役割を選択します。
2. メニューコマンド[編集]>[削除]を選択します。
その役割は、権限グループと共に削除されます。

変更の有効化

注記

SIMATIC Logon 役割の管理で実行した変更は、すべて保存する必要があります。コマンド[ファイル]>[保存]を選択します。

追加情報

役割からのフェーズの削除に関する詳細は、「役割のプロパティの編集方法 (ページ 59)」の章を参照してください。

7.5.3.10 役割のプロパティの変更方法

はじめに

役割には、下記のプロパティがあります。

- 役割名
- 役割の内容
- 役割で使用可能なフェーズ



注記

[フェーズ]をサポートするアプリケーションのみが、フェーズを編集できます。

必要条件

カスタム役割がすでに作成されていること。

手順

1. [設定された役割と割付の種類]フィールドから、役割を選択します。
2. ショートカットメニューコマンド[プロパティ]を選択します。
[SIMATIC Logon 役割の管理 - 役割プロパティ]ダイアログボックスが開きます。
3. 必要に応じて、役割の名前および(または)内容を変更します。
4. 下記のように、役割にフェーズを割り付けます。
 -  使用できるフェーズを割り付けます。
 -  不要なフェーズの割り付けを解除します。
5. [OK]をクリックします。
修正されたフェーズが有効になります。

変更の適用

注記

SIMATIC Logon 役割の管理で実行した変更は、すべて保存する必要があります。コマンド[ファイル]>[保存]を選択します。

7.5.3.11 役割管理データのエクスポート方法

手順

1. メニューコマンド[ファイル|エクスポート...]を選択します。
Windows エクスプローラの[名前を付けて保存...]ダイアログボックスが開きます。
2. 必要なフォルダに移動します。
3. [ファイル名]フィールドに進み、表示されるファイル名を、たとえば
"Roles_ProjectA_20050930"のように、対象としているプロジェクト設定に基づいて変更します。
4. ファイル形式を選択します。
 - コンマ区切り (*.txt)
 - XML (*.xml)
5. [保存]をクリックします。

結果

役割管理データが、入力した名前で作成したフォルダに保存されます。

7.5.3.12 別のコンピュータへのグループとユーザーの割り付け方法

はじめに

特定のコンピュータでグループとユーザーを作成し、それらに役割を割り付けたとします。コンフィグレーションを変更した場合、すなわち、別のコンピュータを使用する場合は、これらのグループとユーザーをこのコンピュータに割り付ける必要があります。

要件

- 元のログオンコンピュータが使用可能であること
- すべてのグループとユーザーが、新しいコンピュータ上で、元の名前と同一の名前で使用可能であること

手順

1. メニューコマンド[編集|グループとユーザーの再割り付け...]を選択します。
[SIMATIC Logon 役割の管理 - グループとユーザーの再割り付け]ダイアログボックスが開きます。
2. 前のコンピュータ名を入力します。

3. 新しいコンピュータ名を入力します。
4. [OK]をクリックします。
グループとユーザーの割り付けが変更されます。

変更の適用

注記

SIMATIC Logon 役割管理での変更は、保存する必要があります。これを行うには、メニューコマンド**[ファイル]保存**を選択します。

7.5.3.13 プロジェクトパスワードの変更方法

はじめに

いくつかのアプリケーションでは、プロジェクトをパスワードで保護することができます。パスワードの変更は、プロジェクトの設定直後と、それ以降に定期的に行うことをお勧めします。

要件

アプリケーションが、[プロジェクトパスワード]機能をサポートしていること。

手順

1. メニューコマンド**[編集]プロジェクトパスワードの変更...**を選択します。
[SIMATIC Logon 役割管理 - プロジェクトパスワードの変更]ダイアログボックスが開きます。
2. 対応するボックスにパスワードを入力します。
3. [パスワードの確認]ボックスでパスワードを確認します。
4. [OK]をクリックします。
プロジェクトパスワードが変更されます。

変更の適用

注記

SIMATIC Logon 役割管理での変更は、保存する必要があります。これを行うには、メニューコマンド**[ファイル]保存**を選択します。

7.5.3.14 ショートカットキー

ファンクションのリスト









メニューコマンドを介してアクセスできる多くのファンクションは、ショートカットキーを使用して SIMATIC Logon でアクセスすることも可能です。

ショートカットキー	機能
<F1>	オンラインヘルプを開く
<F10>	有効なプログラムでメニューバーを有効にする
<Ctrl + A>	すべて選択
<Ctrl + E>	エクスポート
<Ctrl + C>	コピー
<Ctrl + B>	編集
<Ctrl + N>	新しい役割の作成
<Ctrl + R>	グループとユーザーの再割り付け
<Ctrl + S>	変更内容の保存
<Ctrl + V>	貼り付け
<Ctrl + W>	プロジェクトパスワードの変更
	削除
<Alt + メニュー名の下線の付いた文字>	対応するメニューの表示
<Alt + メニュー名の下線の付いた文字 + メニューコマンドの下線の付いた文字>	対応するメニューコマンドを実行

7.5.3.15 SIMATIC Logon 役割管理のフォルダアイコン

アイコン一覧

SIMATIC Logon 役割管理の各フォルダアイコンの意味を次に示します。

アイコン	フォルダの用途
	役割
	ユーザーグループと Windows グループ
	シングルユーザー
	ログオンステーション
	機能権限
	フェーズ
	ドメインリンクコンピュータ
	名前を識別することができないグループまたはユーザー。たとえば、対応するコンピュータへの接続がダウンしているためなど。

7.5.4 ショートカットメニューからのダイアログボックスの呼び出し

7.5.4.1 ショートカットメニューを使用した操作

ショートカットメニュー

メニューコマンドとして使用可能な多くのアクションは、SIMATIC Logon のショートカットメニューで呼び出すこともできます。

ショートカットメニューからメニューコマンドを選択する

ショートカットメニューが使用可能な場合、以下に概要を示すステップに従って、メニューコマンドを選択することができます。

1. オブジェクトを選択します。
2. それを右クリックします。
3. 開かれるショートカットメニューで、メニューコマンドを選択します。

7.5.4.2 [役割の新規作成]ショートカットメニュー

このショートカットメニューは、役割を作成するダイアログボックスを開きます。

1. [設定された役割と割り付けタイプ]グループのツリー表示で、[役割]フォルダを選択します。
2. ショートカットメニューコマンド**[役割の新規作成]**を選択します。
3. セクション「役割の作成方法」(ページ 53)の記述に従って、操作を行います。

7.5.4.3 [編集]ショートカットメニュー

このショートカットメニューは、役割のコンフィグレーションが可能なダイアログボックスを開きます。

1. [設定された役割と割り付けタイプ]グループで、編集する役割の必要な割り付けタイプ(たとえば、「グループとユーザー」)を選択します。
2. ショートカットメニューコマンド**[プロパティ]**を選択します。
3. セクション「役割の設定方法 (ページ 54)」の記述に従って、操作を行います。

7.5.4.4 [プロパティ]ショートカットメニュー

詳細は、セクション「役割のプロパティの変更方法」(ページ 59)を参照してください。

7.5.4.5 [削除]ショートカットメニュー

はじめに

このショートカットメニューを使用して、役割を削除することができます。

役割の削除

1. [設定された役割と割り付けタイプ]グループから削除する役割を選択します。
2. ショートカットメニューコマンド**[削除]**を選択します。

変更の適用

注記

SIMATIC Logon 役割の管理で実行した変更は、すべて保存する必要があります。メニューコマンド**[ファイル]保存**を選択します。

7.5.5 SIMATIC Logon 役割の管理のツールバーとメニューバー

7.5.5.1 ツールバー





はじめに



SIMATIC Logon 役割管理では、ツールバーは、選択したコマンドを呼び出すためのショートカットとして使用されます。

ツールバー



ツールバーから、以下の機能を実行することができます。

シンボル	メニューコマンド	ショートカットキー	意味
	[編集] 役割の新規作成...]	<Ctrl + N>	役割を新規作成するためのダイアログボックスを開きます。
	[ファイル] 保存]	<Ctrl + S>	変更の保存
	[編集] コピー]	<Ctrl + C>	"使用可能なオブジェクト"エリアのオブジェクトをクリップボードにコピーします。 注記: [貼り付け]機能と関連したアプリケーションのみ
	[編集] 貼り付け]	<Ctrl + V>	"役割"エリアで選択した役割に、クリップボードに存在するオブジェクトを割り付けます。 注記: [コピー]と関連したアプリケーションのみ

シンボル	メニューコマンド	ショートカットキー	意味
	[編集 削除]		オブジェクトエリアで選択したオブジェクトを削除します。
	[ヘルプ SIMATIC Logon のヘル プ]	<F1>	SIMATIC Logon ヘルプで選択したオブジェクトやメニューコマンドの情報を開きます。

ツールバー機能がアクティブな時の表示形式

注記

押されたボタンは、特定のステータス(例えば、機能が有効/無効)がアクティブであることを示します。

グレイアウトされたシンボルは、以下のことを示します。

- このシンボルにリンクされた機能がアクティブではない
- または
- このシンボルにリンクされた機能が使用できない

7.5.5.2 SIMATIC Logon 役割の管理のメニューバー

メニューバー

SIMATIC Logon 役割の管理のメニューバーには、下記のメニューがあります。

- ファイルメニュー (ページ 67)
- 編集メニュー (ページ 67)
- ヘルプメニュー (ページ 68)

7.5.5.3 [ファイル]メニュー

[ファイル]メニュー





[ファイル]メニューを使用して、以下のコマンドを実行することができます。

メニューコマンド	アイコン	キーの組み合わせ	意味
保存		<Ctrl + S>	変更の保存
エクスポート		<Ctrl + E>	役割管理データのエクスポート
終了			SIMATIC Logon 役割管理を閉じる

7.5.5.4 [編集]メニュー

[編集]メニュー

[編集]メニューを使用して、以下の機能を実行することができます。

メニューコマンド	シンボル	ショートカットキー	意味
役割の新規作成...		<Ctrl + N>	役割を新規作成するためのダイアログボックスを開きます。
コピー		<Ctrl + C>	[使用可能なオブジェクト]エリアのオブジェクトをクリップボードにコピーします。 注記: [貼り付け]機能と関連したアプリケーションのみ
[挿入]		<Ctrl + V>	[役割]エリアで選択した役割に、クリップボードに存在するオブジェクトを割り付けます。 注記: [コピー]と関連したアプリケーションのみ
削除			オブジェクトエリアで選択したオブジェクトを削除します。
編集		<Ctrl + B>	選択した役割の編集
すべて選択		<Ctrl + A>	使用可能なオブジェクトエリアのすべてのオブジェクトを選択します

メニューコマンド	シンボル	ショートカットキー	意味
グループとユーザーの再割り付け...		<Ctrl + R>	ダイアログボックスを開いてグループおよびユーザー割り付けを変更します
プロジェクトパスワードの変更...		<Ctrl + W>	プロジェクトパスワードを変更するためのダイアログボックスを開きます。

7.5.5.5 [ヘルプ]メニュー

[ヘルプ]メニュー

[ヘルプ]メニューを使用して、以下の機能を実行することができます。

メニューコマンド	アイコン	キーの組み合わせ	詳細
SIMATIC Logon のヘルプ			SIMATIC Logon のオンラインヘルプを開きます。
バージョン情報			SIMATIC Logon のバージョンを示すダイアログを開きます。

7.6 SIMATIC Logon イベントログ

7.6.1 SIMATIC Logon イベントログビューワーについて

はじめに

SIMATIC Logon イベントログビューワーは、アプリケーションイベントの記録および表示のタスクを担当するコンポーネントです。 イベントの記録はアプリケーションによってトリガされ、[SIMATIC Logon イベントログビューワー] (ページ 70)ダイアログボックスで表示されます。

このダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

データベースへの SIMATIC Logon サービスイベントのバックアップ

イベントは、"EventLog.mdb"データベースに保存されます。このデータベースは、インストール後デフォルト設定で、ディレクトリ"...\\SIMATICLogon\\Logging"に配置されます。

推奨: データベースを短い間隔でバックアップするようにします。これは、データの損失を防ぎます(たとえば、ハードディスク障害が発生した場合)。

データベースの損傷を回避するには、アプリケーションの実行中にバックアップを実行してはいけません。

データベースが存在しない場合、新しいデータベースが自動的に作成されます。

アプリケーションのイベントのバックアップ

SIMATIC Logon を使用するアプリケーションは、アプリケーションで定義した場所にイベントを保存します。

データベースが存在しない場合、新しいデータベースが自動的に作成されます。

データベースの保管場所はアプリケーションのマニュアルを参照してください。その場所から適切なディレクトリにデータベースを移動します。

7.6.2 [SIMATIC Logon イベントログビューワー]ダイアログボックス

ダイアログボックスの要素の意味

次の表に、[SIMATIC Logon イベントログビューワー]ダイアログボックスの要素の意味を示します。

エレメント		意味
表示	フィルタステータス	「フィルタが有効」 / 「フィルタが無効」
	イベントの数	ファイルに記録されるイベント数
イベント表示	[タイプ]欄	イベントタイプ:情報、警告、またはエラー
	[タイムスタンプ]欄	イベントの発生時刻
	[ソース]欄	イベントを報告するアプリケーション
	[カテゴリ]欄	イベントの分類(アプリケーションに基づく)
	[イベント]欄	イベントに関する情報
	[作業オブジェクト]欄	イベントに含まれるオブジェクト(アプリケーションに基づく)
	[ユーザー]欄	イベントをトリガしたユーザー
	[コンピュータ]欄	イベントがトリガされたコンピュータ
	[コメント]情報フィールド	ユーザーまたはシステムによって生成されたイベントに関する情報
[更新]ボタン	最後の更新が実行された後に発生したイベントを表示します。	最後の更新から発生したイベントが表示されます。
[コメント]ボタン	コメントを入力するダイアログボックスを開きます。ユーザー自身の認証のためにログオンする必要があります。	下記の情報が表示され、ログファイルに保存されます。 <ul style="list-style-type: none"> • コメント • 日付 • 時刻 • コンピュータ名 • 編集者
[フィルタ...]ボタン	[イベントのフィルタリング]ダイアログボックスを開きます。	フィルタ基準の設定 詳細については、セクション「[SIMATIC Logon イベントログビューワー-フィルタイベント]ダイアログボックス (ページ 71)」を参照してください。
[エクスポート...]ボタン	[エクスポート...]ダイアログボックスを開きます。	イベントエクスポートの設定

エレメント		意味
[閉じる]ボタン	[イベントログビューワー]ダイアログボックスを閉じます。	
[ヘルプ]ボタン	SIMATIC Logon イベントログビューワーのオンラインヘルプを開きます。	

7.6.3 [SIMATIC Logon イベントログビューワー - イベントのフィルタリング]ダイアログボックス

はじめに

このダイアログボックスで、発生イベントのフィルタを設定することができます。

フィルタは、このダイアログボックスを[OK]で閉じたとき、自動的に有効になります。イベントログビューワーでフィルタが有効なとき、「フィルタが有効」というテキストがステータスバーに表示されます。

イベントログビューワーは、フィルタリングされたイベントだけを表示します。

表示されるイベント

フィルタを使用して、イベントログビューワーの表示をコントロールすることができます。

条件

- **タイプ**
個々のイベントタイプのチェックボックスをオンにすることによる選択
- **期間**
周期(開始/終了)を指定します。チェックボックスを使用して、両方の時点(日付と時刻)を有効にすることができます。
- **イベント表示**
指定された欄内で検索するために使用される文字列

文字列	検索する欄	意味
[ソース]	[ソース]欄	イベントを報告するアプリケーション
カテゴリ	[カテゴリ]欄	イベントの分類(アプリケーションに基づく)

文字列	検索する欄	意味
イベント	[イベント]欄	イベントに関する情報
作業オブジェクト	[作業オブジェクト]欄	イベントに含まれるオブジェクト(アプリケーションに基づく)
ユーザー	[ユーザー]欄	イベントをトリガしたユーザー
コンピュータ	[コンピュータ]欄	イベントがトリガされたコンピュータ
[コメント]	[コメント]情報フィールド	ユーザーまたはシステムによって生成されたイベントに関する情報

注記

文字列ではすべての文字が許されるわけではありません。
禁止された文字を入力した場合は、その文字は無視され、警告音が鳴ります。

7.6.4 SIMATIC Logon イベントログビューワーでログオンおよびログオフを追跡する方法

はじめに

SIMATIC Logon は、すべての認証、ログオンおよびログオフをファイルに記録します。
SIMATIC Logon イベントログビューワーを使用して、これらのデータを表示し、個々のエントリにコメントを追加することができます。

手順

1. メニューコマンド[スタート|SIMATIC|SIMATIC Logon|SIMATIC Logon イベントログビューワー]を選択します。
2. ビューワーを実際に開くのか尋ねるプロンプトに対して[はい]で確認応答します。
記録されたすべてのイベントを表示する[SIMATIC Logon イベントログビューワー]ダイアログボックスが開きます。現在選択されているイベントのコメントが、[選択されているイベントのコメント]ボックスに表示されます。
3. [更新]をクリックして、イベントの表示を更新します。
最後の更新の後に発生したイベントが表示されます。
4. [コメント]をクリックして、イベントのコメントを入力します。
ログオンによってユーザー自身の認証を行う必要があるダイアログボックスが開きます。
5. コメントを入力し、[OK]をクリックします。
コメントボックス内に、コメントが日付、時刻、コンピュータ名、および作成者とともに表示され、内容がファイルに保存します。
6. [閉じる]をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

7.7 SIMATIC 電子署名

7.7.1 SIMATIC 電子署名について

SIMATIC 電子署名

SIMATIC 電子署名は、電子署名の作成に使用できる *SIMATIC Logon* コンポーネントです。電子署名は、オートメーションシステムでの重要なオペレータ入力などの際に、要件を満たすために、作成され、アーカイブされる検証情報です。

これらの検証情報には、たとえば、以下の操作に関する情報が含まれます。

- 操作の実施責任がある個人または複数の人の名前
- 操作を実施する日付と時刻
- 署名の意味(例: オーソリゼーション)
- 作成者(例: バッチレシピの作成者)

例

コンフィグレーションした"モータの起動"操作に、電子署名が必要です。

動作の基本原理

SIMATIC 電子署名の動作原理を以下に示します。

- 電子署名が操作に必要な場合は、対応するアプリケーションで適切な要件をコンフィグレーションする必要があります。SIMATIC 電子署名が、入力された情報の照会と評価を行います。
- SIMATIC 電子署名はコンフィグレーションされた操作に関する情報を要求してそれをチェックし、保存のために呼び出し元のアプリケーションに転送します。
- 要求された操作は、操作に関する必要な署名がすべて入力された場合だけ可能になります。

SIMATIC 電子署名を開く

[SIMATIC 電子署名]ダイアログボックスは、アプリケーション固有の呼び出しで表示されます。SIMATIC 電子署名に対するアプリケーション固有の呼び出しを有効にする方法については、関連アプリケーションのマニュアルを参照してください。

7.7.2 電子署名のルール

ルール

SIMATIC 電子署名による電子署名は、以下の要件を満たします。

- 電子署名は一意です:
 - ユーザー名とパスワードから構成されます。
 - 複数の異なるユーザーの情報が要求される場合、それぞれのユーザー名とパスワードが求められます。
- 電子署名は一度入力されると、再利用("コピー")することはできません。
- 電子署名は一度入力されると、他の人に再割り付けすることはできません。
- 電子署名は、以下から構成されます。
 - 署名する個人の名前
 - 署名の日付と時刻
 - オペレータステーションの名前
 - コメント(任意)
- 管理者は、コンフィグレーションの際、1 つ以上の署名の入力が済んではじめてオブジェクトのリリースを行うよう設定することができます(2 重チェック原理)。たとえば、以下のような遵守すべき特定のルールを定義することもできます。
 - 異なるユーザー役割(セクション「SIMATIC LOGON」を参照)
 - 署名を入力する順序

注記

ユーザー名がシステム内で一意であること

- 同一のユーザー名を 2 つの異なるユーザーに割り付けないこと
 - 異なるユーザーは、常に異なるユーザー名を持つこと
-

7.7.3 操作への署名

7.7.3.1 [SIMATIC 電子署名: 署名取得]ダイアログボックス

はじめに

このダイアログボックスで、処理や状態変更のような操作に署名することができます。

注記

ユーザーは、1つのダイアログボックスに1回だけ署名を入力できます。これは、複数の必要なユーザー役割を割り付けられているユーザーにも適用されます。

[[SIMATIC 電子署名]ダイアログボックス：署名の取得]ダイアログボックスの有効範囲と機能

領域	オブジェクト	意味
エレメント	エレメント	オブジェクト名(SIMATIC BATCH では、バッチ、レシピ手順、部分レシピ手順、レシピ操作、レシピ機能、移行など)
情報	ステータスの移行	<ul style="list-style-type: none"> 開始/終了：ステータス移行の表示 オペレータ入力 of 操作表示
	入力	<ul style="list-style-type: none"> すべて：ダイアログボックスを[OK]で確定するためには、ユーザー署名をすべて入力する必要があります。 個別：ユーザーが個別に署名を入力できます。署名ダイアログボックスは、異なるクライアントに対し複数回開くことができます。
	入力の順序	<ul style="list-style-type: none"> 任意：複数の署名の入力に対する特定の順序は指定されていません。 デフォルト：オペレータ入力に対して複数の署名が必要な場合、各署名を、表示されている役割の順序に従って入力する必要があります。
	時間 (オプション表示)	<ul style="list-style-type: none"> 要求：署名の要求を受けた時刻 有効期間：署名を入力する必要のある期間
署名	署名	署名の入力が必要なユーザーに割り付けられている役割を表示します。指定され、表示されている入力順序に、すべて従う必要があります。署名を入力するためには、[署名]グループのリストの役割をクリックします。[署名]をクリックして、署名を入力します。
署名のキャンセル	署名のキャンセル (オプション表示)	署名操作をキャンセルしたユーザーを表示します。このキャンセルオプションは、まだ入力されていない署名がある場合のみ、使用できます。署名要求は、[署名操作をキャンセル]ボタンを使用して、削除できます。この機能は、[署名]表示のユーザー役割に一覧表示されているユーザーのみが使用できます。

7.7.3.2 アクションおよび状態変更に署名する方法

初期状況

オペレータ処理後または状態変更中に、[SIMATIC 電子署名：署名]ダイアログボックスが自動的に開きます。ユーザーの役割の代表者は、操作に署名するよう要求されます。

手順

ユーザーの役割が、[SIMATIC 電子署名：署名をロギング]ダイアログボックスの[署名]表に表示されます。

1. [署名]をクリックします。
[SIMATIC Logon サービス - 署名]ダイアログボックスが開きます。
2. ユーザー名とパスワードを入力し、該当するドメインまたはステーションを選択します。
呼び出しているツールがコメント入力をサポートする場合、必要なコメントを入力します。
3. [OK]をクリックします。
[署名]表に、署名のデータが表示されます。
 - － チェックボックス[すべて]が有効な場合、必要な署名がすべて入力されてからしか、[OK]ボタンは有効になりません。
 - － [個別]チェックボックスが有効になっている場合、必要な署名をすべて入力してから [OK]をクリックして、[SIMATIC Logon サービス - 署名]を閉じることができます。
署名操作は、すべての署名を入力した場合のみ、完了します。
4. [OK]をクリックして、[SIMATIC Logon サービス - 署名]ダイアログボックスに加えた変更を確定します。

注記

署名の入力は、タイムアウト機能を使用して監視できます。時間とタイムアウト設定は、[SIMATIC Logon サービス - 署名]ダイアログボックスの[時間]領域に表示されます。

7.8 SIMATIC Logon 開発キット

7.8.1 SIMATIC Logon 開発キットについて

SIMATIC Logon 開発キット

この開発キットは、SIMATIC Logon を顧客アプリケーションに統合することを望むプログラマ向けのものです。

追加情報

「...\SimaticLogon\developmentkit」ディレクトリに、以下のファイルが存在します。

- SL_ProgrammingGuide.pdf:
「SL_ProgrammingGuide.pdf」には、英語のマニュアル『SIMATIC; SIMATIC Logon Development Kit; プログラミングガイド』が収納されています。
- SL_Example.zip:
「SL_Example.zip」ファイルには、サンプルアプリケーションが収納されています。
『SIMATIC Logon Development Kit プログラミングガイド』には、顧客アプリケーションへの SIMATIC Logon の統合方法を示すサンプルアプリケーションが掲載されています。

索引

[

- [SIMATIC Logon イベントログビューワー-イベントのフィルタリング]ダイアログボックス, 71
- [SIMATIC 電子署名]ダイアログボックス, 74
 - 署名の取得, 74
- [ログオン], 35, 43
 - スマートカードリーダーによる, 43

S

- SIMATIC Logon, 15, 17, 21, 28, 29, 30
 - アンインストール, 21
 - インストール, 17
 - コンフィグレーション, 30
 - サービス, 28
 - 供給内容, 15
 - 設定の開始, 29
- SIMATIC Logon イベントログビューワー, 72
- SIMATIC Logon イベントログビューワーについて, 69
- SIMATIC Logon コンポーネント, 21
 - アンインストール, 21
- SIMATIC Logon サーバ, 20
 - 故障に備えた準備, 20
- SIMATIC Logon サーバの故障, 20
 - 機能の保持, 20
- SIMATIC Logon サービスを使用したユーザーログオンの原則, 25
- SIMATIC Logon サービスを使用したログオンの原則, 25
- SIMATIC Logon のコンフィグレーション, 37
 - 自動ログオフ, 37
- SIMATIC Logon のコンポーネント, 17, 18
 - インストール, 17, 18
- SIMATIC Logon の供給内容, 15
- SIMATIC Logon の作業環境, 33
 - 設定, 33
- SIMATIC Logon の設定, 29, 30, 31, 33, 35, 38
 - [ログオン], 35
 - ダイアログボックス, 30
 - 開始, 29
 - 作業環境, 33
 - 証明書, 38
 - 全般, 31
- SIMATIC Logon 役割の管理, 49
 - 目的, 49

SIMATIC Logon 役割管理, 51, 63

フォルダアイコン, 63

構造, 51

SIMATIC Logon 役割管理のフォルダアイコン, 63

SIMATIC イベントログビューワー, 70

SIMATIC 電子署名, 18, 73

インストール, 18

ア

アイコン, 63

SIMATIC Logon 役割管理のフォルダアイコン, 63

アンインストール, 21

SIMATIC Logon, 21

イ

インストール, 17, 18

SIMATIC Logon, 17, 18

SIMATIC 電子署名, 18

ウ

ウィンドウ, 19

設定, 19

エ

エクスポート, 60

役割管理データ, 60

オ

オペレータ入力とステータスの移行, 76

署名, 76

オペレーティングシステム, 19

設定, 19

ク

グループとユーザー, 60

割り付けの変更, 60

グループとユーザーの割り付け, 60

変更, 60

コ

コンフィグレーションタスク, 52
はじめに, 52
コンフィグレーションタスクの概要, 52

シ

ショートカットキー, 62
ショートカットメニュー, 63, 64
削除, 64
使用方法, 63
編集, 64
役割の新規作成, 64

ス

ステータスの移行とオペレータ入力, 76
署名, 76

タ

タブ, 31, 35
[ログオン], 35
全般, 31

ツ

ツールバー, 65
ツールバー, 65

フ

プロジェクトパスワード, 61
変更, 61

メ

メニュー, 63, 66, 67, 68
?-ヘルプ, 68
[ファイル], 67
SIMATIC Logon 役割の管理のメニューバー, 66
ショートカットメニュー, 63
編集, 67

ユ

ユーザー, 40
削除, 40
追加, 40
ユーザー管理および電子署名, 11

ロ

ログ, 72
ログオン追跡, 72
ログオン, 41, 42, 48
SIMATIC Logon による - 概要, 41
ログオンダイアログボックスによる, 42
他のデバイスからのログオン, 48
ログオンイベント, 72
追跡, 72
ログオンおよびログオフ, 72
追跡, 72

顧

顧客のアプリケーションへの SIMATIC Logon の統合, 77

自

自動ログオフ, 37
コンフィグレーション, 37

処

処理と状態変更, 76
署名, 76

署

署名ステータスの移行とオペレータ入力, 76
署名処理と状態変更, 76

証

証明書, 38
設定, 38

状

状態変更と処理, 76
署名, 76

設

設定, 19, 54
オペレーティングシステムでの, 19
役割, 54

全

全般的な設定, 31

電

電子署名, 11, 73, 74
SIMATIC 電子署名による, 73
およびユーザー管理, 11
ルール, 74

必

必要なコンフィグレーションタスクの概要, 27
必要条件, 13
オペレーティングシステム, 13
ハードウェア, 13

役

役割, 53, 54, 58, 59
プロパティの変更, 59
作成, 53
削除, 58
設定, 54
役割のプロパティ, 59, 64
変更, 59, 64
役割管理, 60, 63
データのエクスポート, 60
役割管理データ, 60
エクスポート, 60

